

活動報告

公開講演会

「アメリカのろう文化：障害・文化・環境の多様性」

講師：武田 太一（聴覚・ろう重複センターつくしっこ）

日時：2018年12月10日（月）14:30-16:00

場所：愛知県立大学長久手キャンパス S101

主催：愛知県立大学多文化共生研究所

後援：同教養教育センター

使用言語：日本手話（音声日本語への通訳あり）

参加人数：約140人

ろう者であり、聴覚・ろう重複センターつくしっこの管理者である武田太一さんを講師に招き、日本とアメリカの手話とろう者の文化について学ぶ機会とした。武田さんは日本手話で講演し、音声日本語への通訳を用意した。教養科目「多文化社会とコミュニケーション」の受講学生が合流して参加するとともに、知人などのつてを通じて行事のことがあった一般市民たちの参加があった。また、難聴学生の参加に合わせ、音声認識アプリUDトークによる書記日本語の情報支援を行った（PC端末の画面に表示）。

自らの生い立ちと学校経験、アメリカ留学と大学院修士

課程での学び、日本とアメリカの手話や教育カリキュラム、社会制度の違いなどの話題を通じ、ろう者の文化を国際比較もまじえながら学ぶことの重要性を説く講演がなされた。

学生たちの中には、今回初めてろう者の手話による講演を経験した者も多かった。また、講演内容を受けて、異文化理解の重要性を受け止めた学生たちの感想が多く寄せられた。講演終了後、講師を囲んで、学生たちや一般市民参加者と懇談の時間帯をもつこともでき、有意義な開催となった。（文責：亀井伸孝）

